

# 指定管理業務点検・評価シート（平成26年度業務）

平成27年 8月17日

施設名	鳥取県立倉吉未来中心	所在地	倉吉市駄経寺町212-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

## 1 施設の概要

設置目的	人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため。
設置年月日	平成13年4月21日
施設内容	○敷地面積：21,117.63㎡ ○建物面積：16,401.81㎡ ○施設内容：大ホール（最大1,503席）、小ホール（最大310席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1、第2練習室、セミナールーム1～9、アトリウム、団体事務局サロンほか
利用料金	<a href="http://cms.sanin.jp/p/miraichushin/2/3/">http://cms.sanin.jp/p/miraichushin/2/3/</a>
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎月第1、3、5月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

## 2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤倉吉未来中心を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥地域との連携
---------	--

## 3 施設の管理体制

	正職員：13人、非常勤職員：7人、嘱託職員：1人〔計21人〕
管理体制	館長（正職員1） <ul style="list-style-type: none"> <li>総務部〔事務・施設利用・文化事業実施〕 （正職員7、非常勤7） ※県民文化会館駐在職員含む（非常勤2）</li> <li>舞台技術室〔技術〕 （正職員5、嘱託1）</li> </ul>

## 4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	26年度		14,550	12,994	18,284	17,805	19,477	12,126	22,258	34,031	16,410	10,337	18,675	15,251
25年度		15,271	13,909	25,494	13,282	22,706	11,766	19,910	29,737	15,244	12,663	11,899	15,605	207,486
増減		△721	△915	△7,210	4,523	△3,229	360	2,348	4,294	1,166	△2,326	6,776	△354	4,712

利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	26年度		4,204	3,130	3,416	3,795	4,785	4,167	3,747	5,346	4,967	2,842	4,058	2,961
25年度		6,683	2,841	3,560	4,790	4,675	3,325	2,454	3,519	4,306	3,405	2,401	4,354	46,313
増減		△2,479	289	△144	△995	110	842	1,293	1,827	661	△563	1,657	△1,393	1,105

5 収支の状況

区 分		26年度	25年度	増 減	
収入	事業収入	利用料金収入	47,418	46,313	
		小 計	47,418	46,313	
	事業外収入	県委託料	97,629 (90,644)	90,001 (88,393)	
		倉吉市委託料	78,404 (71,060)	73,290 (70,408)	
		手数料・使用料収入	4,728	4,044	
		雑収入等	901	726	
		他会計からの繰入金等	0	3,758	
小 計	181,662	171,819			
計	229,080	218,132			
支出	人 件 費	81,306	79,968		
	管理運営費	133,446	133,674		
	計	214,752	213,642		
収 支 差 額		14,328	4,490		

6 労働条件等

確認項目	状況			備考	
	正職員	非常勤職員	嘱託職員（再雇用）		
雇用契約・ 労使協定	労働条件の書面による提示	・職員就業規則 ・労働条件通知書	・非常勤職員就業規則 ・労働条件通知書	・非常勤職員就業規則（準用） ・再雇用契約書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	—	※常時10人以上の労働者を起床する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	・時間外労働・休日労働に関する協定書 ・再雇用制度の適用対象者を選定する基準に関する協定書			※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	8 時間			※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	自己申告、使用者の現認			※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	・概ね4週間当たり8日間の週休日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日数（土曜日と重複する日を除く） ・年末年始（12/29～1/3） ・年次有給休暇 ・その他の休暇 有給：病気休暇、特別休暇、子の看護休暇 無給：育児・介護休暇、海外随伴休暇	・年次有給休暇 ・その他の休暇 有給：特別休暇、子の看護休暇 無給：育児・介護休暇	左記に準じる  左記に準じる	※幅がある場合は上限、下限を記入
給与	給与金額	324千円	168千円	227千円	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回			
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課長より選任		※業種・規模の要件あり

7 サービスの向上に向けた取組み

区分	取組み内容
利用申込 利用促進	<p>○利用者の要望を踏まえ、従来の利用料割引プランの改善を図り利用促進を図った。 【大ホール舞台のみ練習割引（改正）】利用日の1ヶ月前を経過後に文化芸術活動のために大ホールの舞台上のみを練習利用する場合、施設利用料を練習・準備料金より20%割引していたが、鳥取県の文化芸術活動推進のため、県内利用者に限り利用日の2ヶ月前を経過後に利用する場合は、通常料金より75%割引することとした。また、従来の割引プランでは備品が利用できなかったが、有料で利用可能とし、より利用しやすいプランとした。（利用実績：8件） 【大ホール4・5月平日割引プラン（継続）】（利用実績：2件）</p> <p>○従来から実施している利用促進を継続して行った。 ・ホール等の利用者へ、利用後にお礼状はがきを発送し、次回の利用申込みを促進した。 ・利用請求書発送時に、会館で実施する主催事業のチラシを同封して販売促進を行った。 ・年間を通して県外プロモーター、学校関係、官公庁、県内民間企業を訪問し、施設の利用促進、鑑賞公演のチケット販売促進を図った。</p>
情報発信	<p>・倉吉パークスクエア内の他施設（鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センター、倉吉市立図書館）と連携し、パークスクエア内のイベント情報を発信する「倉吉パークスクエア通信」を年4回発行し、中部地区施設、旅館等へ配布した。 ・倉吉未来中心イベント情報を、各種情報誌やソーシャルメディアを活用し、県内外へ広く発信した。（財団情報誌Arte、財団友の会メール会員、Facebook、関西文化.com、Lazuda、EventBank、ジャングルゲームなど）</p>
新たなサービス	<p>従来から実施しているサービスは継続するとともに、平成26年度は下記のサービスを導入し利用者の利便性を図った。 ・携帯電話等充電器設置（有料） ・アトリウムのWi-Fiスポット整備（無料） ・文化活動でホールを利用時、テープ類の消耗品の無償提供 ・財団が所有するアートマネジメント関連図書の閲覧サービス ・平成23年5月より空き店舗となっていたレストランの出店者が決まり、平成26年10月より営業を開始した。 ・プロジェクター利用希望が多いため、1台新規購入し貸出数を増やした。 ・現在主流の映像投影サイズ（ワイドサイズ）に対応するスクリーンを2台新規購入した。</p>
アンケートの実施	施設内にメッセージBOXの設置、また、施設利用者アンケート（施設利用完了報告書）によって、一般来館者、施設利用者の意見を求めた。
運営懇談会の開催	これまで施設利用者から施設の利用・管理運営のあり方について意見を伺う「利用者懇談会」を開催してきたが、管理運営のみならず、文化芸術を通じた倉吉未来中心の地域における役割、地域との連携・協働に関する助言をいただくため、「運営懇談会」として改組し、意見交換を年2回実施した。
舞台技術支援	県内の舞台技術者の人材育成及び創作活動の普及啓発により文化振興促進のため、文化活動団体、教育機関、公立文化施設職員等に対して、舞台技術（ソフトウエア）及び舞台関連設備（ハードウエア）について相談、助言、情報提供、指導等を実施した。（文化活動団体2件、公共施設2件）
舞台技術講座の開催	中部地区の舞台芸術活動実演者を下支える舞台スタッフを養成するため、舞台技術基礎知識の習得機会として座学及び実技による舞台技術講座「照明、音響、舞台の3部門」を社会人及び高校演劇部所属の学生に対して各4回開催した。（参加者数：学生49名、社会人60名 延べ109名）

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内にメッセージBOXを設置</li> <li>施設利用完了報告書に利用者の意見を求める欄を設置</li> <li>電話、FAX、Eメールによる意見等の受付</li> <li>運営懇談会の設置・開催</li> <li>県への「県民の声」による意見受付</li> </ul>
------------	--

利用者からの苦情・要望	対応状況
セミナールーム3のマイクの音が飛ぶ、マイクの音が聞こえにくかった。	マイク設備の出力設定不備が原因であったため、これ以後、利用前の点検を徹底している。
会場の案内板が少なく、会場が分かりづらかった。	平成27年3月に既存の施設案内表示の表記を改善するとともに、設置場所を追加したことにより導線の改良を図った。また、この案内表示だけでは不十分な場合は、利用者へ誘導用の案内板を無料で貸出し対応している。
練習室の壁に鏡を付けて欲しい。	現在、姿見鏡の貸出しで対応しているが、壁への取付けについては、施工方法や音響効果への影響等と検討しながら、設置の有無を県と協議していく。
駐車場の逆走があり、利用者が多いときには警備員を立たせてはどうか。	来場者の多い催事の場合は、主催者に駐車場係を配置してもらい誘導をお願いしている。また、導線の案内標識や白線の改善を今後検討する。
予約時間の15分前でないと鍵が貸していただけません。せめて30分前にしていただけないでしょうか。	15分前からの鍵出しは、利用前後の点検や清掃時間を考慮したうえで、サービスとして行っている。これより早い時間の鍵出しは追加料金がかかるが利用できることを説明していく。
椅子の汚れが気になる。新しくして欲しい。	セミナールームの椅子（セミナー48を除く）は、平成27年3月までにすべて更新した。
何度も使っている人・団体に対して申込方法を簡単にして欲しい。	文化活動目的で頻繁にご利用いただく場合は、利用申込書のコピーを控えておいて、ご使用いただくサービスを行っている。他の利用者についても検討していく。
イベントが少ない。もう少しイベントが欲しい。	地域の皆様の意見・要望を聞きながら自主企画を実施するとともに、営業活動によりコンサートやイベント等の利用を促進する。
もっと楽しめるスペースを作って欲しい。	地域の皆様の意見・要望を聞きながら、施設の活用を検討する。

トイレにウォシュレットを付けて欲しい。

現在、ウォシュレットの設置は多目的トイレのみであるが、他のトイレについては、県のトイレ改修計画の中で検討していただいている。

#### 利用者からの積極的な評価

##### 〈職員の対応〉

- ・手話であいさつしてくれる。
- ・筆談や身振り等で対応していただき助かりました。
- ・清掃の行き届いた部屋で会合させていただき、本当にお世話になりありがとうございました。
- ・みなさんととても親切に接していただきました。
- ・電話で申込みの時も、来館時もとても親切にご対応いただきました。
- ・皆さんのおかげですばらしい公演になりました。ありがとうございました。
- ・利用前、部屋まで説明にきていただき、設備について丁寧に使用の仕方等助けていただいた。
- ・舞台スタッフの方や職員の方がサポートしてくださったおかげで、お客様にも満足していただける大会になりました。
- ・細かな要求にもこころよく聞いてくださり、大変ありがたかったです。
- ・朝から気持ちの良いあいさつをされていました。
- ・数年前からセミナールームを利用させてもらっていますが、清掃が行き届きテーブル、椅子も整頓されており、大変気持ちがいいです。
- ・清掃の行き届いた部屋で会合させていただき、本当にお世話になりありがとうございました。

##### 〈施設設備〉

- ・利用しやすく、使用前もきれいにしており、こちよく使用させていただきました。
- ・パソコンやホワイトボード等、全てこちらの思った通りに活用でき、研修をスムーズに進めることができました。
- ・必要な備品（マイクとかプロジェクターとPCを繋ぐコード）があらかじめセッティングされており、使い易い。
- ・会場の広さ、設備等、こちらが望んだ研修を行うことができる施設だった。
- ・防音が効いていて、静かで良かった。
- ・ピアノの音も良く、集中して練習でき、とても良かった。
- ・来館された方がいろいろと見ることができる場所であって、いいと思った。

##### 〈申込手続〉

- ・電話（FAX）で申込ができ、支払いも振り込み可能。
- ・メールでの申請で行えるため、手続きがスムーズにできます。
- ・Webで空いている日時・部屋などが確認できる。

9 指定管理者による自己点検

<p>〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕</p>
<p><b>(利用者目線のフレンドリーな施設づくり)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の賑わい創出、交流促進を図るために「倉吉未来中心地域活性化事業」を様々な角度から実施し、気軽に文化芸術に触れる機会を数多く提供した。</li> <li>・館内の案内表示の改良や2カ国語表記（日本語・英語）、設置場所の追加により、開館当初から多かった場所がわかりにくいというご意見が減少し、改善を図ることができた。</li> <li>・七夕・クリスマスのイベントへの保育園参加や、小中学校の施設見学やユニバーサルデザイン学習の案内、高校のインターンシップ受け入れなど、園児から高校生まで館イベントや運営について体験していただくことができた。</li> </ul> <p><b>(安心・安全な施設運営)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回の消防設備と避難誘導設備の自主点検、及び安全衛生委員会による定期点検等を行い、危険箇所を洗い出してその対策を講じた。</li> <li>・消防訓練を入居団体・委託業者を含め年2回実施し、火災発生時の初期消火・来館者の避難誘導・関係機関への通報体制を整えている。訓練の当日は消防署立ち会いによる改善点等の指導や救命講習開催など、より円滑で的確な消防・防災体制の構築を図った。</li> <li>・設備の点検・予防保全に努め、中長期整備計画を基に必要な改修・設備の更新を県へ要望、或いは会館で修理しながら施設の維持管理を行った。</li> <li>・倉吉パークスクエア4施設による「倉吉パークスクエア会議」を毎月開催して情報共有を図るとともに、駐車場混雑時の対応を各施設と連携・調整を図りながら安全管理を行った。</li> </ul> <p><b>(効率的な施設運営)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の保守点検等業務委託を、県民文化会館との2館一括契約や複数年契約とし、経費削減を図った。</li> <li>・来館者が「快適に安全」に過ごすことができる環境を提供することを第一としながら、省エネルギー、省資源への取り組みとして、節電、節水等に配慮しながら施設の管理運営に努めた。</li> <li>・鳥取県版環境管理システム（TEAS）Ⅱ種の更新登録を行い、職員に対する環境配慮への意識啓発や、利用者へも節水や空調設定温度の協力を啓発した。また、地域で行われる環境活動へ参加することにより地域貢献活動を行った。</li> </ul> <p><b>(地域との連携、文化芸術拠点としての活動)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉未来中心地域活性化事業として、コンサート・演劇など13公演を実施し、地元アーティストが出演する「みらい音楽堂」やアトリウムを音楽喫茶に仕立てた「みらい音楽喫茶」、財団が実施する鑑賞公演のプレ・アフター事業として「みらいアートリウム劇場」、0歳から入場できる「ハッピースマイルコンサート」など、趣向を変えながら無料で鑑賞できるコンサートを実施した。また、アウトリーチとして一部館外で実施し、新規鑑賞者の開拓を図った。</li> <li>・中部地区の文化活動団体と協働して企画・運営を行う「協働企画公演」では、アートマネジャーによる事業進行管理を進めていただき、人材育成を図ることができた。</li> <li>・10回目を迎えた「Mechaしぶナイト倶楽部」では、地元のアマチュアバンド団体と協働して、世代を問わず音楽が楽しめる機会を提供するとともに、活動者がこの公演に出演したいという目標となる事業として定着した。</li> <li>・「ベーゼンドルフピアノ演奏体験」、「ホールたんけんツアー」、「みらいアートギャラリー」では、鑑賞するだけでなく参加・体験できる機会を設け、施設をより身近に感じていただいた。</li> <li>・会館の支援者及び文化振興のよき理解者としてホールボランティアを募集し、自主事業開催時にフロントスタッフや舞台スタッフとして活動していただいた。舞台ボランティアに関しては、舞台・音響・照明等の技術スキルを向上させ、地域の活動者の下支えとなる人材育成も合わせて促進している。</li> <li>・県下全域を対象とした文化芸術事業については、県民文化会館企画制作部が鑑賞事業・育成創造事業を実施しているが、中部地域での事業については、倉吉未来中心に設置した文化事業課が推進しており、事業実施を通じて、中部地域における文化芸術の鑑賞機会の提供、新規鑑賞者獲得、リピーター育成に大きな役割を果たした。また、鑑賞公演と地域との連携企画として、倉吉パークスクエア内飲食店への「チケット提示割引サービス」を実施するとともに、和太鼓公演では地元活動団体の協力を得て広報・販売促進を行った。</li> <li>・とりアート2014中部地区企画運営委員会の運営を引き続き担い、中部地区事業の目標である次世代育成、地域交流の達成に向けて取り組んだ。</li> </ul>
<p>〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕</p>
<p><b>〔現在、苦慮している事項〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホール利用促進のため、県外プロモーターや地元企業等への営業活動の実施や割引プランの設定など対策を講じ、利用率が50%台へ回復したが、鳥取県大会等の東中西持ち回り事業や全国規模の大会等の開催の有無の影響が大きいため、利用率を維持することに苦慮している。</li> <li>・施設設備の経年劣化が進んできているため、予防保全と計画的な更新に努めているが、予期せぬ故障等に対し、利用者に影響を与えない即座な対応ができるよう取り組んでいきたい。</li> </ul> <p><b>〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに「倉吉未来中心地域連携・協働事業」として、地域の文化団体や各種団体、文化施設との連携・協働を展開し、文化芸術に人や地域が連携して取り組む地域づくりを進める。</li> <li>・地元の文化活動者の活躍の場として、施設を利用した「倉吉未来中心地域活性化事業」を発展させていき、新たな人材発掘やジャンルの拡大及び、子育て世代の支援、誰でも気軽に鑑賞・参加できる機会を更に増やす取り組み。</li> <li>・鑑賞事業については、目標入場率の達成に向けて、ソーシャルメディアの活用等による広報・宣伝の充実、新規鑑賞者獲得のための団体・企業等への販路拡大などを計画的かつ組織的に進めていくとともに、マスコミ対象の特別共催制度を活用し、中部地区の鑑賞公演を増やすことにより地域活性化へ繋げる。</li> <li>・教育機関との連携を積極的に進めることとし、鳥取短期大学生を対象とした舞台講座を実施し、学校事業や卒後の幼稚園・保育所における学習発表会等が円滑に実施できるような人材を育成を行う。また、少子化による小学校統廃合が進んでおり、校歌等の記録保存を勧めることにより、ホールの利用促進を図る。</li> </ul>

10 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○施設整備の保守管理・修繕は、予防保全の観点から適切に行われており、故障等に伴う催事中止など利用者にご迷惑をお掛けするような事態も生じていない。 ○警備職員、清掃員の接遇も、利用者アンケートの結果も良好で、適切な指導ができています。 ○事故等の発生時も、現場対応が迅速かつ適切に行われており、施設設置者である県に対しても事後速やかに報告されている。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○適切に対応されているものと認められる。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○適切に対応されているものと認められる。 ○利用者への対応(貸出備品の使用方法の説明等)も、アンケートの結果も良好で、適切な対応がなされていると認められる。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	3	○利用者アンケートを通じて、ニーズを汲み取った対応を行うとともに、今年度立ち上げた運営懇談会を通じて地域との連携を検討・協議した。 ○ホールの利用率については、本年度も利用日数・利用率(6ポイント増)とも増加し、使用率については50%を超える利用となった。特に下半期の利用が好調であったが、4月から6月の利用率が低いので、同期間の利用促進に努めていただきたい。 ○施設全体の利用者数も21万人を越え、前年比2ポイントの増であった。引き続き施設の利用促進に取り組んでいただきたい。
[活性化事業の実施状況] ○実施内容	4	○地域に愛され、人や文化の交流拠点となるよう、地域に根ざした会館づくりを目指し、地域の文化活動者と協働して、以下の事業を実施した。 ①みらい音楽堂(約750人) 誰もが気軽に楽しめる機会の提供と中部地域の活動者が成果を発表する場として実施した。 ②Mechaしぶナイト倶楽部(約280人) 地元活動団体と協働して音楽ライブを企画・運営し、鑑賞者及び活動者、舞台スタッフの育成を図った。  以上のほか、館内デコレーションやみらいアートギャラリーなど、地域の方々などに施設に足を運んでいただける催しを実施した。
[収入支出の状況]	3	○概ね協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われているが、利用料収入が計画を下回っているため、利用促進に努めていただきたい。
[職員の配置]	3	○協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
[会計事務の状況] ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)	3	○適切に対応されているものと認められる。
[関係法令の遵守状況] ○関係法令に係る行政指導等の有無等 ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 ○県内発注(鳥取県産業振興条例)	4	○関係法令に沿って、適切に対応されているものと認められる。 ○鳥取県産業振興条例に基づいた県内発注については、施設整備の保守管理で県内に受託者がいない場合を除き、適切に行っているものと認められる。 ○鳥取県環境管理システムに従い、廃棄物の抑制や美化活動も積極的に行われている。
[県の施策への協力] ○障がい者就労施設への発注	3	○アトリウム喫茶の運営を引き続き行うとともに、物品調達の障がい者就労施設への発注を増やすなど、今後も積極的な発注に努めていただきたい。
総 括	3.4	中部地区における文化芸術の振興、地域の文化芸術団体・関係機関等と連携・協働しながら地域の活性化に今以上に取り組んでいただき、賑わい創出や交流が生まれる施設運営に努めていただきたい。